

サウンディング結果の概要

対話の対象項目	概要
運営のコンセプト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「上田市のワイン産業と地域の活性化に貢献するブティックワイナリー」（世界に通じる「UEDA ワイン」確立のための土台作り。）</li> <li>・近隣施設と同様の物を扱うのではなく、専門分野を取り扱い、店舗の特色を出す。</li> <li>・施設内に和庭園の造成及びブドウの木の植樹を行い雰囲気醸し出す。</li> <li>・地元の食材を取り入れた、飲食店。</li> <li>・午後は、くつろぎを醸し出せる café として営業する。</li> </ul>
地域貢献に対する考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の拠点として、音楽村でのイベント開催時に合わせ、試飲コーナーの開設やワイナリーツアー等を行う。</li> <li>・椀子ワイナリーのマルシェ開催時に連携してのイベント実施。</li> <li>・定期的なマルシェの開催。</li> <li>・イベント時の限定メニューの提供</li> <li>・パンフレットに掲載していない地域の魅力の発信。</li> </ul>
行政に求める支援や配慮して欲しい点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺遊歩道の整備</li> <li>・駐車場の舗装及び障がい者等専用駐車場利用証（パーキングパーミット）制度の確保</li> <li>・早期利用に向けた法（条例）整備等の行政手続きの迅速な対応。</li> </ul>
その他自由提案・意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上田市におけるワイン産業が今後大きく発展することに期待を持てる。</li> <li>・音楽村周辺のハード面（眺望、美しい施設群等）、ソフト面（地域の発表の場、プロによる演奏、地域交流の場）の広義的な側面から勘案した場合においてもそこに集う方々を十分に満足させられることのできる施設になりえることが出来る。</li> <li>・現状の建物状況においては、ワインの貯蔵は可能だが、構造的な問題のため、新たにワイン醸造所の建設が必要。</li> <li>・ブティックワイナリーは、観光なども含めた地域ワイン関連産業を振興する施設として、注目されており近隣自治体のみならず、日本各地で取り組みが進んでいる。</li> <li>・委託醸造の請負や里親制度等を通じて、新規就農者の受け皿となることで移住促進にも繋げられる。</li> <li>・音楽村でのイベント時等、集客が見込める場合は、営業時間延長も可能。</li> <li>・定休日の設定は、固定ではなく、状況に応じて、ある程度自由に定めたい。</li> </ul>